

文化活動・交流の拠点

ふれあい倉庫「赤れんが6号」

【カルチャーホール】

第1回フラダンス発表会

▼日時 4月29日(日) 14時～15時

▼内容 フラダンス同好会「アロハフラーズ」の発表会です。日頃の練習の成果をぜひご覧ください。

▼問合せ 高橋 (☎ 090 - 5221 - 7152)

【多目的ホール】

中川久雄絵画塾塾生展の作品展

▼日時 4月13日(金)～22日(日) 10時～18時

▼内容 油彩・水彩画など50人の塾生が約60作品を展示、発表します。

▼問合せ 中川久雄 (☎ 090 - 1524 - 9558)

お知らせ

■ 4月から営業時間に変更になります

直売コーナー：9時30分～18時

■ 施設の利用方法 ふれあい倉庫では、貸館業務をふれあいホール運営協議会に委託しています。施設利用の申込みと使用料の支払いは、ふれあい倉庫の事務カウンターでお願いします。

当別観光情報プラザ【FIKA】フィーカ

[4月のギャラリー]

当別の美しい景観スポット 36

▼期間 4月2日(月)～27日(金)

▼内容 当別の美しい景観スポットに認定されている36箇所を一挙に写真とFIKAスタッフのガイドでご案内します。場所当てクイズにも挑戦してください。

[4月のイベント]

♪～歌声フィーカ～♪

▼日時 4月3日(火) 14時～15時

▼内容 懐かしの歌を色々…アコーディオン奏者Kibanaさんの伴奏で一緒に歌いましょう。歌集も用意しています。お気軽にご参加ください。

▼参加料 無料

<町民ポータルサイト>

ふれあい倉庫とFIKAの情報は町民ポータルサイトのブログで随時更新していますので、ぜひご覧ください。<http://portal.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

▼問合せ ふれあい倉庫 (☎ 27 - 6600)

FIKA (☎ 27 - 5388) 商工課 (☎ 23 - 3129)

続

町長の日記

平成24年3月18日(日)

今、開会中の町議会でも「少子化」は、やはり議論になっているが、そんな折に卒業生が4人しかいない弁華別小学校の卒業式に参列してきた。

この学校は全校生徒が16名だが、ふるさと学習で「農園活動」をしていて、そこで「生命の育み」を学びながら作った野菜を活用して昨年の大震災に姉妹都市大崎市へ募金活動をしてくれたので先般、大崎市の伊藤市長さんが大変喜んで当別町へお礼に来てくれた時の事を伝える為にも私は卒業式に出席した。

女性の校長先生から一人ひとり卒業証書を授与され生徒は父母席に向けて「僕は将来俳優になります！」とか「私は将来医者になります！」などと小さな学校のたった4人の卒業生がはっきりとした口調で大きな目標を述べたのは希望と逞しさが伝わってくる、驚きの光景だった。

その後、在校生が一人ずつ卒業生に学校生活の思い出のシーンを語りお礼を述べた時、卒業生が感激する姿を父母達が涙を流して見ていた。

たった4人の卒業生に1時間40分、掛け替えのない感動の時間が流れた。

私はその時、少子化で小規模学校が本当に困る事なのだろうか？と初めて考えさせられた。

一方、同じ頃に北海道医療大学の学位記授与式(卒業式)にも出席してきた。

今年も博士、修士、学士が541名卒業され、全国からご家族は複数で来られるので、人数は毎年卒業生より多く講堂は今年も満杯だった。

来年から学部が増えると卒業式、入学式がこの大学の講堂で出来るか心配されているとの事なので私は是非とも当別町で挙げて貰いたいので当別町が卒業式典のお祝いをする大イベント等を考えたいと思った。

何しろこの大学を卒業されて現在日本の医療に貢献されている人の数は15,000人を超えているし、今年も博士号をとられた人もいます。

何よりも、この大学の校歌の作曲者は「最早、都会のコンクリートジャングルには医療に関する徳律、倫理の真の教育は存在しない」と言われているのですから。

当別町長泉亭俊彦